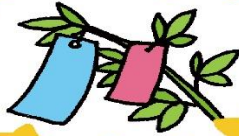




# ほけんだより



\*プールがはじまります



雨の降る季節になりました。室内での活動も多くなりますが、雨の季節ならではの遊びを取り入れながら、過ごしていきたいと思います。また、体調をくずしやすい時期ですので、健康に十分留意してください。

★夏になると、夏風邪や皮膚疾患等、夏特有の様々な感染症が子どもの間で流行します。予防したり、適切に対処したりして、夏を元気に過ごしましょう。  
今回は、夏に子どもがかかりやすい病気をまとめました。



## プール前に確認を！

子どもたちはプール遊びをとっても楽しみにしています。しかし、体力を使いますので、その日の体調を十分に観察するようにしてください。

- 発熱はしていませんか？
- 朝ごはんは食べましたか？
- 目やにや充血はありませんか？
- 下痢や腹痛はありませんか？
- せき、鼻水は出ていませんか？
- 皮膚に発疹<sup>ほっしん</sup>などはありませんか？
- つめは短く切ってありますか？



# 夏

ごろ  
に流行する感染症

## プール熱

主な病原体 アデノウイルス

正式名「咽頭結膜熱」。高熱、のどの腫れと結膜炎の症状が出る。プール遊びやタオルの共用で感染することが多いため、プール熱とも呼ばれる。



## マイコプラズマ肺炎

主な病原体 肺炎マイコプラズマ

咳、発熱、頭痛等のかぜ症状がゆっくり進行し、肺炎をひきおこす。咳が徐々に激しくなり、数週間続くこともある。



## 流行性角結膜炎

主な病原体 アデノウイルス

とても感染力が強く、俗に「はやり目」とも言われる。目が充血し、目やにが出る。片方の目で発症した後、もう片方の目に感染することがある。



## 手足口病

主な病原体 コクサッキーウイルス A6、A16、エンテロウイルス 71 (EV71)

発熱とのどの痛み、口の中や手足の先、おしり等に、水ぶくれ状の発疹ができる。口の中は痛みも伴うため、唾液が増える。



## ヘルパンギーナ

主な病原体 コクサッキーウイルス

高熱が出て、のどの奥に赤いブツブツができる。ブツブツは水ぶくれとなり、間もなく破れて潰瘍になり、痛みを伴う。



## とびひ

主な病原体 黄色ブドウ球菌の場合が多い(溶血性レンサ球菌の場合もある)

正式名「伝染性膿痂(のうか)しん」。かゆみのある水ぶくれやただれ、かさぶたが、鼻の周りや手足など、体のどこにでもできる。患部をかきむしったりすると、湿しんや虫刺されなどの傷を介して感染し、周りの皮膚に広がる。

